



2022年度 環境経営レポート

(対象期間:2022年7月1日~2023年6月30日)



作成日：2023年9月30日
発行責任者：吉野 栄一

□ごあいさつ

私たちは、滋賀県の湖南地域を中心とした測量・設計・総合建設の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境マネジメントシステムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

□取組対象組織・活動

更新日：2023年7月1日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社サンキ
代表取締役社長 密山 龍男
- (2) 所在地
本 社 滋賀県栗東市手原5丁目7-27
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 常務取締役 吉野 栄一 TEL：077-554-8300
担当者 総務部 谷 茉南 TEL：077-554-8300
- (4) 事業内容
測量・設計・調査、土木工事業、建築工事業
- (5) 事業の規模
売上高 2022年度 394 百万円

	本 社
従業員 名	20 名
延べ床面積 m ²	128 m ²
- (6) 事業年度 2022年7月1日～2023年6月30日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社サンキ
対象事業所：本 社

対象外：なし
活動：測量・設計・調査、土木工事業、建築工事業

□過去3ケ年間の環境負荷

	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	50,699	49,253	40,798
二酸化炭素総排出量/百万円	kg-CO2/百万円	155.0	84.05	103.55
産業廃棄物排出量	t	22.6	21.0	434.2
水使用量	m ³	56	111	95

* 電力排出係数は、関西電力 2019年度の調整後排出係数 0.318kg-CO2/kWhを2021年から2023年の3ケ年間固定します。

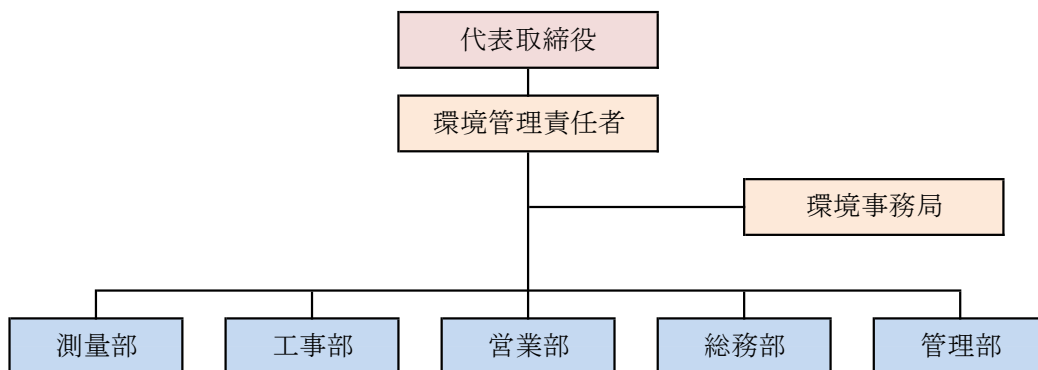
* 化学物質の取扱いはありません。

□事業や製品（商品）の紹介



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2022年7月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示 環境経営レポートの承認・許可
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



株式会社サンキ

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社サンキは、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、企業活動において技術的・経済的な環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 事務所・現場での電気使用量及び移動時の燃料使用量を削減し、CO₂の排出量を削減します。
事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することによりリデュース、リユース, リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
- 3 .
- 4 . 事務所・現場から排出する水の汚濁を防止し、節水に努めます。
- 5 . 環境に配慮したサービス(工事・設計業務)の提供を推進します。
- 6 . 環境活動の社会貢献を推進します。
- 7 . 環境教育、社外活動などを実施し全従業員の環境方針の理解と環境意識の向上に図ります。



制定日：2010年5月1日

改定日：2021年7月1日

代表取締役社長 **密山 龍男**

3 環境経営目標とその実績

株式会社サンキは2010年11月より環境活動に取り組んでいます。2020年度を基準年にして2021年度から2023年度の目標を設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは2022年7月1日から2023年6月30日までの運用実績について取りまとめました。

取組内容	取組項目	年度 単位	基準年 2020年	2022年度 取組年 2022年7月1日～2023年6月30日		次年度	中長期
				(目標)	(実績)	2023年	2024年
				(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
事務所・現場での電気 使用量及び移動時の燃 料使用量を削減し、C O ₂ の排出量を削減し ます。	電力使用量の 削減 (単位： kWh)	目標・基準年 比達成率	100%	98%	67.8%	97%	97%
		使用量	12,941	12,682	8,773	12,553	12,553
		(kg-CO ₂)	4,115	4,033	2,790	3,992	3,992
	ガソリン使用 量の削減 (単位：L)	目標・基準年 比達成率	100%	98%	82.9%	97%	97%
		使用量	18,792	18,416	15,585	18,228	18,228
		(kg-CO ₂)	43,597	42,725	36,157	42,290	42,290
	軽油使用量の 削減 (単位：L)	目標・基準年 比達成率	100%	98%	139.5%	97%	97%
		使用量	397	389	554	385	385
		(kg-CO ₂)	1,025	1,004	1,429	994	994
	L P G ガス使 用量の削減 (単位：㎡)	目標・基準年 比達成率	100%	98%	111.1%	97%	97%
使用量		183	180	204	178	178	
(kg-CO ₂)		379	372	422	368	368	
二酸化炭素の 排出量の削減	目標・基準年 比達成率	100%	98%	83.1%	97%	97%	
	(kg-CO ₂)	49,117	48,134	40,798	47,643	47,643	
二酸化炭素排 出原単位 (CO ₂ / 百万円)	目標・基準年 比達成率	100%	97%	110.3%	96%	96%	
	(kg-CO ₂)	93.9	91.1	103.55	90.1	90.1	
事業活動に伴う廃棄に関 して、分別を積極的に実施す ることによりリデュース、 リユース、リサイクルを推進 し、廃棄物を削減します。	建設リサイクル 率の推進 (単位：%)	目標・基準年 比達成率	-	-	105.6%	-	-
		(%)	90%	90%	95.0%	90%	90%
事務所・現場から排出す る水の汚濁を防止し、節 水に努めます。	事業所利用水の 維持 (単位：㎡)	目標・基準年 比達成率	100%	100%	86%	100%	100%
		(㎡/年維持)	111	111	95	111	111
	濁水防止監視を	目標・取組年 比達成率	-	-	100%	-	-
	(%)	100%	100%	100%	100%	100%	
環境に配慮したサービ ス(工事・設計業務)の提供 を推進します。	低騒音・低振動 型重機、排ガス 規制適合車を (単位：%)	目標・基準年 比達成率	-	-	100%	-	-
		%	100%	100%	100%	100%	100%
環境活動の社会貢献を推 進します。	美知メセナ活動 を1回/月	目標・取組年 比達成率	-	-	100%	-	-
		(回/年)	12	12	12	12	12

- 1 電力のCO₂調整後排出係数は、関西電力の2019年度 0.318kg-CO₂/kWhを2021年から2023年の3ヶ年間固定します。
- 2 廃棄物排出量は、一般廃棄物及び産業廃棄物に対しての総排出量で管理し、リサイクル率に取組めます。
- 3 水使用量は、削減限界値の為、基準年値を維持します。また、建設現場では、濁水監視に取組めます。
- 4 環境配慮は、低騒音・低振動型重機、排ガス規制適合車を使用します。
- 5 社会貢献活動は、地域の美化活動に参加します。
- 6 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取組めます。
- 7 2024年目標は、仮目標です。

4 主要な環境経営計画の内容

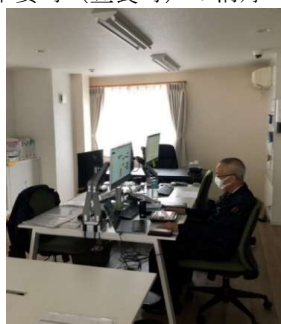
取組内容	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門
事務所・現場での電気使用量及び移動時の燃料使用量を削減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	①エアコン温度設定管理夏：28℃、冬：20℃ ②昼食時及び不使用部屋消灯 ③未使用時のパソコンの電源オフ	総務部
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	①アイドリングストップ ②エコドライブ ③空ぶかし禁止 ④積載オーバーをしない ⑤効率的なルートの確保	総務部
	軽油使用量の削減 (単位：L)		
	LPGガス使用量の削減 (単位：m ³)	①ガス量の調節 ②温水温度の適正化	
事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することによりリデュース、リユース、リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	建設リサイクル率の推進 (単位：%)	①産業廃棄物の分別の徹底 ②作業ミスによる廃棄物の削減	工務部 総務部
事務所・現場から排出する水の汚濁を防止し、節水に努めます。	事業所利用水の維持 (単位：m ³)	①洗いの時は流しっ放しはしない ②雨水の利用（洗車時等） ③建設現場では、濁水監視を実施する	総務部
環境に配慮したサービス(工事・設計業務)の提供を推進します。	濁水防止監視	①低騒音・低振動型重機を使用する ②排ガス規制適合車を使用する	総務部
環境活動の社会貢献を推進します。	美知メセナ活動を1回/月	①美知メセナ活動を月1回実施する	総務部

★主な取り組みの内容

美知メセナ



不要時（昼食時）の消灯



5 環境経営活動の取組結果の評価・次年度の取り組み

評価：○達成 △基準年105%以内達成 ×未達成

取組内容	取組項目	年度	2022年度 取組年 2022年7月1日～2023年6月30日		評価	取組の評価	次年度の取組
			(目標)	(実績)			
事務所・現場での電気 使用量及び移動時の燃 料使用量を削減し、C O ₂ の排出量を削減し ます。	電力使用量の 削減 (単位： kWh)	目標・基準年 比達成率	98%	67.8%	○	昨年引き続き休憩 時の消灯を徹底、さ らにエアコンの温度 管理をすることで1 年間を通して使用量 を約3割減らすこと ができた	昼食時だけでなく、 社内の人が少ない場 合は人がいない場所 の照明を落として節 電する
		使用量	12,682	8,773			
		(kg-CO ₂)	4,236	2,930			
	ガソリン使用 量の削減 (単位：L)	目標・基準年 比達成率	98%	82.9%	○		
		使用量	18,416	15,585			
		(kg-CO ₂)	42,725	36,157			
	軽油使用量の 削減 (単位：L)	目標・基準年 比達成率	98%	139.5%	×	月ごとに現場数 や現場までの距離 が変わるため、計 画を達成出来た月 とできない月があ った。省エネ運転 (エコドライブ)を 実施や、なるべく 一つの車に乗り合 わせるなど対策を 行った。	車両点検をこまめ に行い、燃費向上 及び使用量削減に 取り組む
使用量		389	554				
(kg-CO ₂)		1,004	1,429				
L P G ガス使 用量の削減 (単位：m ³)	目標・基準年 比達成率	98%	111.1%	×			
	使用量	180	204				
	(kg-CO ₂)	372	422				
二酸化炭素の 排出量の削減	目標・基準年 比達成率	98%	83.1%	○			
	(kg-CO ₂)	48,134	40,798				
二酸化炭素排 出量原単位 (CO ₂ /百万 円)	目標・基準年 比達成率	97%	110.3%	△			
	(kg-CO ₂)	91.1	103.55				
事業活動に伴う廃棄に関し て、分別を積極的に実施す ることによりリデュース、 リユース、リサイクルを推進 し、廃棄物を削減します。	建設リサイクル 率の推進 (単位：%)	目標・基準年 比達成率	-	105.6%	○	廃棄物は分別を 徹底して、リサ イクルに努め削 減に努めた	引き続き分別の徹 底、リサイクルに 努める
		(%)	90%	95.0%			
事務所・現場から排出す る水の汚濁を防止し、節 水に努めます。	事業所利用水 の維持 (単位：m ³)	目標・基準年 比達成率	100%	86%	○	トイレで水を流す際 にできるだけ小 (ECO)モード で流すことを心掛 けたことで計画を 上回ることなく節 約できた。	トイレの洗浄の際 の水量を極力エコ 洗浄を使用し節水 に取り組む
		(m ³ /年維持)	111	95			
	濁水防止監視 を	目標・取組年 比達成率	-	100%	○	建設現場では、 濁水監視を実施 した	建設現場では、濁 水監視を実施する
(%)	100%	100%					
環境に配慮したサー ビス(工事・設計業務)の 提供を推進します。	濁水防止監視 を	目標・基準年 比達成率	-	100%	○	工事について は、率先して環 境に配慮した機 械を使用した。	工事については、 率先して環境に配 慮した機械を使用 する
		(%)	100%	100%			
環境活動の社会貢献を 推進します。	美知メセナ活 動を1回/月	目標・取組年 比達成率	-	100%	○	地域貢献活動に 参加し、定期的 に美知メセナを 実施した。	引き続き地域活動 に参加し定期的に 美知メセナ実施を 行う
		(回/年)	12	12			

★次年度の主な取り組み内容

エコアクション21活動を開始して以降、CO₂の削減に継続的に取り組んできた。更なる目標達成の為、環境対策車両への切替を進める。

7 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反、訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の点検、記録の保存	遵守
騒音・振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
水質汚濁防止法	事故時の措置	遵守
消防法	対象危険物保管の届出及び基準	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
家電リサイクル法	廃家電リサイクル券	遵守

注：適用される法規制等と遵守状況は環境関連法規等に遵守状況のチェック結果に基づきます。

8 代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年9月30日

評価

今期は元請の建築工事での発電機使用により、軽油の使用量が増加した。そして、電力高騰から暖房器具をガスに切り替えたことにより、LPGは、111.1%増加となった。しかし、環境への取組を意識していたが目標としていた軽油、LPGの数値は未達であった。
今回の未達で軽油、LPGの使用頻度を再度計画を見直し、最大限CO2削減に取り組んでいく。来期も目標達成を明確にし、全社一丸となり取組の強化を図る。
そして、先行きの石油や電力等の高騰が進んでいる状況であるが、環境への進め方を再度検討、社内にてルール化し、環境対策に持続できるような考えを図りたい。

〔変更の必要性〕

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり